

業績リスト(過去3年)

* (1. 著書	2. 論文)	3. 訳書	4. 研究ノート	5. 書評
6. 調査報告書	7. その他文筆活動	8. 作品発表	9. 学会発表	10. 講義・講演
11. テレビ・ラジオ等出演	12. 公的活動	13. 研究助成採択	14. その他	

* (1. 著書 2. 論文)は別途掲載

横島 三和子 (よこじま みわこ) [子ども教育学科 准教授]

2022年

9. 学会発表

- ・信藤佳奈, 横島三和子, キャリア意識がウェルビーイングにもたらす影響について, 日本養護教諭教育学会第30回学術集会, 北海道(ハイブリット開催), 2022年12月
- ・進藤容子, 中井清津子, 横島三和子, 原口富美子, 保育者の食育実践力評価の視点(3), 日本保育学会第75回大会, オンライン開催, 2022年5月

12. 公的活動

- ・大阪市西成区「プレーパーク事業(にしなりジャガピーパーク)」事業者選定会議選定委員
- ・大阪市西区「民間事業者を活用した課外学習事業(西区夏期講習会)」協定締結事業者選定委員会委員長
- ・大阪市西成区「基礎学力向上支援事業(西成ジャガピースクール)」事業者選定会議選定委員
- ・大阪市東淀川区「鑑賞教育事業業務委託」事業者選定会議委員

13. 研究助成採択

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者 (含他所属)
横島三和子	日本学術 振興会 (科学研究費 助成事業) 若手研究	養護教諭の高い専門性と 実践力を育成する養護学 の構築と養護実践の体系 化に関する研究	2022年度	26	
概 要					
本研究は、養護教諭が目的を持って意図的に行う教育活動である養護実践の可視化とその構造のあり様を明らかにすることを目的とし、教育職員としての養護教諭の専門性と実践力を育成する「養護学」構築のための方法論の提案を目指している。 2022年度は、養護実践を構成する要因や関連性に着目し、養護教諭の思考や行為、信念は何を支えに成り立っているのか、養護教諭がアイデンティティをどのように変容し獲得しながら専門性を高めていくのか等の問いを軸に検討を重ねた。これらの知見やモデル化が重要であることが示唆され、養護実践を質的に分析し、実践の構造化を目指すことになる。					

2021年

9. 学会発表

- ・横島三和子, フィールドン(野呂)育未, 岡田雅樹, 保育者養成における実習業務の効率化と教育改善のためのシステム開発, 日本乳幼児教育学会第31回大会, オンライン開催, 2021年12月
- ・進藤容子, 中井清津子, 横島三和子, 原口富美子, 保育者の食育実践力評価の視点(2), 日本保育学会第74回大会, オンライン開催, 2021年5月

12. 公的活動

- ・神戸市青少年科学館展示装置更新設計・施工業務委託プロポーザル選定委員会委員
- ・大阪市大正区「民間事業者を活用した課外学習支援事業」事業者選定会議委員
- ・大阪市西成区「プレーパーク事業(にしなりジャガピーパーク)」事業者選定会議選定委員
- ・大阪市西成区「基礎学力向上支援事業(西成ジャガピースクール)」事業者選定会議選定委員

- ・大阪市生野区「生きるチカラを育む課外授業」事業者選定委員会委員
- ・大阪市生野区民間事業者等を活用した課外授業「いくの塾」事業者選定委員会委員

13. 研究助成採択

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者（含他所属）
横島三和子	日本学術 振興会 (科学研究費 助成事業) 若手研究	養護教諭の高い専門性と 実践力を育成する養護学 の構築と養護実践の体系 化に関する研究	2021年度	26	
概 要					
本研究は、養護教諭が目的を持って意図的に行う教育活動である養護実践の可視化とその構造のあり様を明らかにすることを目的とし、教育職員としての養護教諭の専門性と実践力を育成する「養護学」構築のための方法論の提案を目指している。 2021年度は、前年度に試行したシステムが養護教諭の実践記録とプロセスの可視化を支援するものになっているかの検証を行なった。養護教諭の実践は、常に複雑さが内包しており、看護と教育の知見や経験が混在し、目の前の子供の状況に応じて巧みに対処していることが予測される。そのあり様をいかにして捉えるかは容易ではない。開発するシステムが養護教諭の実践を補助するだけでなく、実践の構造を質的に分析する視点で改良を試みることに尽力した。					

2020年

9. 学会発表

- ・進藤容子，中井清津子，横島三和子，原口富美子，保育者の食育実践に必要な指導力について(5)，日本保育学会第73回大会，オンライン開催，2020年5月
- ・木村久男，中西利恵，進藤容子，曲田映世，横島三和子，渡部理恵，保育者養成校学生の自然への感性を育てるしかけづくり(8)，日本保育学会第73回大会，オンライン開催，2020年5月

12. 公的活動

- ・大阪市生野区「生きるチカラを育む課外授業」事業者選定委員会委員
- ・大阪市生野区民間事業者等を活用した課外授業「いくの塾」事業者選定委員会委員
- ・大阪市西成区「プレーパーク事業」事業者選定会議選定委員
- ・大阪市西成区「基礎学力向上支援事業」事業者選定会議選定委員

13. 研究助成採択

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者（含他所属）
横島三和子	大阪人間 科学大学	保育・教育実習にまつわ る業務効率化と教育改善 のためのシステム開発	2020年度	15.7432	岡田雅樹 仁木裕美 土肥茂幸 フィールデン育未 阪江豪
概 要（薫英研究費・有）					
本研究は、令和2年度薫英研究費の助成を受けて実施したものである。子ども保育学科における保育・教育実習の業務効率化と学生の学修支援を目的として、Cloudベースのリレーショナルデータベースで実習全体にまつわる情報を管理するシステムの開発を目指した。 いつでもどこでも情報取得可能、実習の学びのためのワークフローの明確化、学びに関連する情報の接続、この3点の視点を軸とし、FileMaker Cloudによりシステム運用を試みたところ、書類やデータの関連性と学生の学修プロセスを可視化することにより、実習に付随する学生の姿を多面的に捉えることを支援し、学生指導の質的向上と教育改善、実習にまつわる業務の効率化が可能となることが示唆された。					

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者（含他所属）
横島三和子	日本学術 振興会 (科学研究費 助成事業) 若手研究	養護教諭の高い専門性と 実践力を育成する養護学 の構築と養護実践の体系 化に関する研究	2020年度	52	
					概 要
					本研究は、養護教諭が目的を持って意図的に行う教育活動である養護実践の可視化とその構造のあり様を明らかにすることを目的とし、教育職員としての養護教諭の専門性と実践力を育成する「養護学」構築のための方法論の提案を目指している。 2020年度は、養護実践の可視化支援システムの設計を中心として、養護実践を記録するプラットフォームの検討とインタフェースの試作を行なった。ユーザビリティと初期データの取得を主眼とし、インタフェースデザインの吟味、フレームワークの柔軟な改良を考慮したシステム設計に努めた。